

対 ラオス人民民主共和国 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	LDC脱却を目指す経済社会基盤の強化
---------------	--------------------

重点分野1 (中目標)	財政安定化をはじめとするガバナンス強化および分野横断的な課題への対応
----------------	------------------------------------

開発課題1-1 (小目標) ガバナンス強化	【現状と課題】 ラオス政府は、国家社会経済開発計画において、マクロ経済安定化のメカニズムの改善、財務計画の強化、憲法及び法律の厳格な実施（法の支配に基づく国家発展）を重要項目としている。しかしながら、ラオスでは近年GDP成長率が鈍化しており、公的債務残高がGDP比で60%を超過する等、公的債務管理、公共投資管理、歳入管理、財政の健全化が喫緊の課題となっている。また、ラオスは依然として世界最大の不発弾汚染国であるが、約8,000万発の不発弾が存在すると推定される中、これまでに除去された不発弾はその1%に過ぎない。不発弾事故による人的被害が発生し、人道的な課題となっていることに加え、経済社会開発の観点から、汚染が特に深刻な9県において早期の除去が必要とされている。	【開発課題への対応方針】 マクロ経済の安定化や財政の安定、開発計画と予算編成の整合、グッドガバナンスは、分野横断的な課題として協力を行う。具体的には、これまで実施してきた法整備支援や公共投資事業の管理能力強化に向けた支援に加え、歳入強化、財政健全化に向けた協力に注力する。また、今後の開発事業を適切に遂行するための中央・地方行政能力の向上を支援する。加えて、不発弾の効率的・効果的な除去推進のために関連組織の能力向上を図ると共に、除去活動費や必要な機材の整備等を支援する。	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考								
			協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2021 年度 以前	2022 年度				2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度				
ガバナンス強化プログラム	公共投資事業の運営管理手法の開発及び計画投資者の中央・地方の人材育成に加え、歳入強化や共同研究等、財政健全化に向けた財務関係機関の人材育成や財務統計情報の整備を支援することで、公共財政管理の強化を図る。また、法の支配による市場経済化を視野に、社会や経済の実態に応じた法制度を整備していくため、法務・司法分野の人材及び組織の能力向上に向けた取組を支援する。不発弾の効率的・効果的な除去に向けて、技術協力と無償資金協力を組み合わせて、ソフト・ハード面の強化を図る。	債務管理アドバイザー	個別専門家																
		公共投資計画管理改善アドバイザー	個別専門家																
		リスク管理を通じた通関手続き能力向上プロジェクト	技プロ																
		税務能力向上プロジェクト	技プロ																
		税務行政能力向上アドバイザー	個別専門家																
		法の支配発展促進プロジェクト	技プロ										5.60	10					
		法の支配発展促進プロジェクトフェーズ2	技プロ											10					
		貧困削減に資するUXO Laoの実施能力強化プロジェクト	技プロ											2.70	18				
		南部地域における不発弾除去の加速化計画	無償											9.00	18				
		経済社会開発計画(不発弾)	無償											5.40	18				
		ガバナンス分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO											1.78	18		計4件		
		ガバナンス分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償											0.25	18		計1件		
		政府認証基盤事業 案件化調査	案件化調査																
		経済社会開発計画(治安対策分野)	無償										2.00	16					
		技術協力及び女性のエンパワーメントを通じたラオスにおける国境管理能力向上計画	無償										2.20	5,16			国際移住機関(IOM)		
		党幹部研修プロジェクト	技プロ																
ガバナンス分野の国別研修	国別研修																		
ガバナンス分野の課題別研修地	課題別研修地																		
ガバナンス分野の能力に係るJICA海外協力隊	JOCV																		
トゥギャザー・フォー・ピース(T4P):アジア太平洋地域における平和で持続可能な未来構築のための教育の役割に関する地域対話	マルチ											0.18百万USD	4,16			国際連合教育科学文化機関(UNESCO)			
フックトゥー・オン・ピース(Hooked on Peace)	マルチ											0.20百万USD	4,16			国際連合教育科学文化機関(UNESCO)			

重点分野2 (中目標)	周辺国とのハード・ソフト面での連結性強化
----------------	----------------------

開発課題2-1 (小目標) 交通・運輸網の整備	【現状と課題】 ラオス政府は第9次国家社会経済開発5か年計画(2021-2025年)において「連結性強化」を目標に掲げている。メコン地域の中心に位置し、内陸国であるラオスにおいて、交通・運輸網の整備は、メコン地域を含むASEAN諸国及び国内の連携性を強化し、貧困削減や経済成長を進めるうえで重要であり、首都ビエンチャン国際空港、東西経済回廊等の主要な国際幹線道路の整備が進んでいる。しかしながら、道路分野に関しては、国道の舗装率は約86%程度に達したものの、全道路の舗装率は未だ約22%に留まっており(2020年時点:出典MPWT)、地域の物流インフラに必要な利便性及び安定性を確保するためには道路の改良や通関手続きの円滑化が必要とされており、また、維持管理では予算・技術の不足が大きな課題となっている。加えて、過積載車両の問題が道路の損傷を招く一因となっており、維持管理を一層困難なものとしているほか、全国で約3,000ある橋梁は約半数が定期的又は緊急的な補修が必要とされ老朽化により安全性や利便性に支障をきたしている。航空分野に関しては、ラオスには4つの国際空港、9つの国内空港があり、人及び物資の高速輸送手段として航空輸送の役割は大きい。また、拡張を含む整備や航空保安は引き続きの課題である。	【開発課題への対応方針】 交通・運輸網の整備に關し、メコン地域を含むASEAN諸国及び国内の連携性を強化するため、道路・橋梁及び航空の分野を中心に協力を展開する。道路分野においては、既存道路の維持管理とのバランスやASEAN・他メコン地域との連結性の強化を念頭におきつつ、地方部を含む主要道路・橋梁の整備に取り組み。また、道路・橋梁の維持管理の能力強化に取り組み。航空分野は、首都ビエンチャン(ワッタイ)国際空港など主要空港の拡張や航空安全性の向上に向けた協力を中心に取り組み。また、横断的な課題として通関手続きの改善にも取り組む。	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考							
			協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2021 年度 以前	2022 年度				2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
交通・運輸網整備プログラム	道路分野においては、既存道路の維持管理とのバランスやASEAN・他メコン地域との連結性の強化を念頭におきつつ、地方部を含む主要道路・橋梁の整備に取り組み。また、道路・橋梁の維持管理の能力強化に取り組みとともに、政策アドバイザー等を活用し、財源確保に向けた政策提言等も検討する。航空分野は、首都ビエンチャン(ワッタイ)国際空港など主要空港の拡張や航空安全性の向上に向けた協力を中心に取り組み。また、横断的な課題として通関手続きの改善にも取り組む。	橋梁維持管理強化プロジェクト	技プロ									4.90	8,11					
		インフラ分野の国別研修	国別研修															
		インフラ分野の課題別研修地	課題別研修地															
		道路整備を促進するコンクリート二次製品の導入に向けた普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業															
		ビエンチャン国際空港の継続的改善に係る技術支援プロジェクト	技プロ											8.11			有償協定技術支援	
		情報共有プラットフォーム導入による国際貨物車両の通行管理に係る普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業															
インフラ分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償											0.38	9		計4件			
経済社会開発計画(空港関連機材供与)	無償											10.00	8,9					

開発課題3-3 (小目標) 農業開発	【現状と課題】 ラオスにおいて、農林水産業がGDPに占める割合は3割に留まるが、就業人口の約7割を占める重要な産業である。ラオス政府はこれまでの自給的農業から、自給と商品作物生産を組み合わせた農業への移行を目指しており、農業政策は食料安全保障の確保という観点から国民の栄養状態の向上や安心・安全で環境に配慮した農産物の安定供給、生産技術及び生産物の質の改善、そして商業的生産の振興へと力を移しつつある。一方で、小規模農家が大半を占めるという現状では、一定水準以上の品質の農産物を安定的に生産・供給する体制が整っていない。また、優良種子の供給や技術普及に係る体制の未整備、農家の資金余力のなさや技術向上への投資に対する消極的態度等の理由により、未だ市場の要求に応じた生産が行われているとは言いがたい。加えて、バリューチェーン構築のためには、物理的な流通インフラ整備、卸売・市場の機能強化、流通・販売網の多様化、検査体制の強化に加え、政府、民間事業者、農業従事者等の広範囲な関係者が協力する枠組みの構築が重要な課題である。			【開発課題への対応方針】 食料安全保障の確保及び商品作物生産の振興を目指すラオス政府の政策的取組みを念頭に、農業インフラの整備から生産・マーケティング・加工・流通・販売までを視野に入れたバリューチェーン構築のため包括的な支援を行う。その際は、化学肥料や農薬が使用されていない農地が多く存在するラオス農業の強みを活かした安心・安全かつ地域色のある農産物の生産、農産物の安定供給のための農民組織の強化、そして優良種子の供給体制の強化に重点的に取り組むとともに、ASEAN経済共同体に向けて近隣諸国への輸出を目指した制度・体制面の強化を行う。また、農業を競争力ある産業として確立するため、国内外の民間セクターからの投資促進を図る。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度				
農業開発プログラム			農業政策アドバイザー	個別専門家										
			サバナケット農における参加型農業振興プロジェクト	技プロ								6.00	2	
			グリーン農業開発プロジェクト	技プロ								4.00	2	
			稲種子管理アドバイザー	個別専門家										
			フードバリューチェーン強化プロジェクト	技プロ								2.80	2	
			経済社会開発計画（水産分野）	無償								2.00	2	
			農業分野の草の根技術協力	草の根技協										
			余剰水力発電を活用した現地肥料生産の基礎調査	基礎調査										
			農業水利施設長寿命化計画検討調査委託事業	農水省技協										
			農業分野の国別研修	国別研修										
			農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.18	2	計2件
			農業分野の課題別研修地	課題別研修地										
			農業開発に係るJICA海外協力隊	JOCV										
重点分野4 (中目標)	環境・文化保全に配慮した均衡のとれた都市・地方開発を通じた格差是正													
開発課題4-1 (小目標) 都市環境整備	【現状と課題】 首都ビエンチャンをはじめ、世界遺産都市として有名な北部中核都市ルアンパバーン、東西経済回廊上に位置し、近年工業地帯開発を進めている中部中核都市サワンナケート、農業・観光が盛んな南部中核都市バクセー等、ラオスには中核都市が国土に分散しており、地域の経済的な発展を牽引する重要な役割が期待されている。一方で、近年の経済成長に伴い、首都ビエンチャンを中心に、人口増加による市街地の拡大、車両台数の増加による交通渋滞や大気汚染、安全・安定的な水の確保、生活排水による水質悪化や悪臭等、都市化に伴う問題が顕在化しつつある。都市住民の生活環境の悪化を防ぎ、地域の社会経済の中心地として重要な役割を担うには、これら中核都市の環境整備は喫緊の課題となっている。			【開発課題への対応方針】 首都ビエンチャンや地方中核都市が、それぞれの特色を活かした形で発展できるよう、公共交通、上水道改善、廃棄物管理、都市排水等の改善に向け、それぞれの都市のニーズに合った協力を計画的に取り組んでいく。取組みに当たっては、資金協力と技術協力を組み合わせるなどして課題解決に向けた効果的なアプローチを検討していく。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度				
				都市開発管理・促進能力強化プロジェクト	技プロ							3.23	11	
				ルアンパバーン世界遺産の持続可能な管理保全能力向上プロジェクト	技プロ									
				ルアンパバーンにおける持続可能な都市開発・交通管理プロジェクト	技プロ							3.55	9	
				持続可能な都市交通システム能力向上プロジェクト	技プロ							3.14	9	
				経済社会開発計画（ビエンチャン市バス車両）	無償							5.00	11	
				水道事業運営管理能力向上プロジェクト (MaHaSU 2)	技プロ							6.80	6	
				都市環境分野の国別研修	国別研修									
				都市環境分野の草の根技協	草の根技協									
				リサイクル担体 (KIDS) による排水処理システム普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業									
				既存浄水場へ簡単に設置できる水道水質向上方法に関する案件化調査【通常予算分】	案件化調査									
			首都ビエンチャン上水道拡張事業	有償							102.71	6		
			ルアンパバーン市上水道拡張計画（本体）	無償							19.22	6		
			有害廃棄物管理能力向上プロジェクト	技プロ										
			ビエンチャン市における医療廃棄物を含む有害廃棄物処理・管理改善に向けた普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業										
			都市環境分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.23	6	計5件	
			都市環境分野支援に係るJICA海外協力隊	JOCV										
			チャオアヌウォンスタジアム改修計画準備調査	協賛										
			東南アジアにおける文書遺産の保全にかかる能力向上支援	マルチ							0.10百万USD	7,11,16	国際連合教育科学文化機関 (UNESCO)	

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
開発課題 4-2 森林保全・気候変動対策	持続的な森林管理プログラム	効果的なREDD+活用に向けた持続的森林管理強化プロジェクト	技プロ	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						4.04	15.00	
		森林管理分野の課題別研修他	課題別研修他	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
その他個別の案件	頻発する水害等の自然災害に対し、復旧・復興及び災害対応能力強化を図る。	水害被災地域における住宅セクターの復旧・復興支援計画	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						2.50	11,13	
		メコン河流域洪水対策強化計画	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						3.00	13	メコン河委員会 (MRC)
		洪水被災地域における食料供給強化及び農業インフラ整備計画	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						1.80	13	世界食糧機関 (WFP)
		メコン河流域洪水・渇水対策計画	マルチ	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						4.12	13	メコン河委員会 (MRC)
		水害被災地域における学校及びその周辺地域の水と衛生に関する改善計画	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						2.50	11,13	国連児童基金 (UNICEF)
		水害被災地域における学校教育セクターの復旧・復興支援計画	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						2.50	11,13	国連児童基金 (UNICEF)
		経済社会開発計画 (災害関連機材供与)	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						10.00	13	
		経済社会開発計画 (防災分野)	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						10.00	13	
開発課題 4-3 保健医療サービス強化	保健医療サービス強化プログラム	UHC実現に向け、技術協力を通じた医療サービスの質的向上のための支援、また医療人材の免許制度整備や人材育成制度強化や地域住民の医療サービスへのアクセス向上のための地方行政機能を支援する。また、無償資金協力を通じた医療施設、機材の提供等、ハード・ソフトを有機的に組み合わせた協力に取り組んでいく。さらに、制度整備と複数案件の成果を政策面へ反映させるため、保健政策アドバイザーを派遣する。	科学技術	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]							3	
		革新的技術を活用したマラリア及び顕微鏡検出可能な寄生虫の制御と診断に関する研究開発	科学技術	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		持続可能な保健人材開発・質保証制度整備プロジェクト	技プロ	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						3.84	3	
		病院の保健医療サービスの質および財務管理改善プロジェクト	技プロ	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						3.10	3	
		保健政策アドバイザー	個別専門家	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		保健政策アドバイザー	個別専門家	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		セタウィット病院及びチャンパサック県病院整備計画	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						19.00	3	
		新型コロナウイルスに係る感染対策プロジェクト	技プロ	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		保健分野の草の根技協	草の根技協	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		経済社会開発計画 (新型コロナウイルス対策)	無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						15.00	3	
		保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]						0.90	3	計5件
		ビエンチャン市における医療廃棄物を含む有害廃棄物処理・管理改善に向けた普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		保健分野の課題別研修他	課題別研修他	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								
		保健医療分野のJICA海外協力隊	JOCV	[Bar chart showing implementation from 2021 to 2026]								

凡例) 「協定」(一全ての協定協定調査)、「詳細設計」(一詳細設計)、「基礎情報調査」(一基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(一技術協力プロジェクト)、「開発計画」(一開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(一個別専門家)、「個別機材」(一個別機材)、「課題別研修」(一課題別研修及び青年研修)、「長期研修」(一長期研修)、「JOCV」(一JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(一第三国専門家)、「現地国内研修」(一科学技術協力(技術型及び個別専門家型))、「草の根技協」(一草の根技術協力)、「OC各技協」(一外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(一開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(一途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(一以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(一水産無償資金協力)、「食糧援助」(一食糧援助)、「一般文化」(一一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(一草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(一緊急無償資金協力)、「日本NGO」(一日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(一草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(一円借付・海外投資)、「情報収集調査」(一基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(一国際機関等を通じた多国間協定スキーム)、「基礎調査」(一中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「実地調査」(一中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(一中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実施期間」(一実施期間)、「破壊」(一破壊)、「実施予定期間」(一実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当欄略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】「貧困」, 2「飢餓」, 3「保健」, 4「教育」, 5「ジェンダー」, 6「水・衛生」, 7「エネルギー」, 8「経済成長と雇用」, 9「インフラ、産業化、イノベーション」, 10「不平等」, 11「持続可能な都市」, 12「持続可能な消費と生産」, 13「気候変動」14「海洋資源」, 15「陸上資源」, 16「平和」, 17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf